



ラジオ演説の草稿をねるエバンス国際ロータリー新会長

Photo: By Courtesy of Public Relations Dept., RI

A Better World Through Rotary

1966~67年度の目標 解説

バスターガバナー 宮 脇 富

1966~67年度の国際ロータリー会長、リチャード・エル・エバンスの施政目標は、ロータリーの力でこの世界を今より一層優れたものにしようとするのにあるようであります。提示された題目は A Better World Through Rotary というのであります。これは標語的に‘ロータリーで、よりよい世界を’とでも申しますか、あるいは解説的に‘ロータリーの力でよりよい世界を造りましょう’とでも申すことができましょう。いずれにいたしましても、我々ロータリアンは奉仕の精神を發揮して、この世界を明るく住みよい平和なものにしようと呼びかけたものと思ひます。

エバンス会長は、その目標を達成するために、われわれに10カ条の実行案を示しております。その詳細は、いずれRI文献事務所において邦訳の上、皆さんのお手元に達することと思ひますが、その大要は次のようなものであります。

1. 新会員をふやすことによってロータリーを分かち合うこと。
2. 新クラブを結成することによってロータリーを分かち合うこと。

3. ロータリーの友好を享受すること。
4. 地域社会が必要とする事を見出し奉仕すること。
5. 各自の事業乃至専門職業をより良くすること。
6. 青少年へ奉仕すること。
7. 広報を効果的に推進すること。
8. ロータリーの国際性を強調すること。
9. 世界的社会奉仕に参加すること。
10. ロータリー財団を支援すること。

以上の通りでありまして、これまで常に強調されていた事柄のみであり、別に新味はないように見えますけれども、もしわれわれが真剣にこれらと取り組んだならば、ほんとうに良いロータリアンとなり、ロータリーの力でより良い世界が生れて来ると思われます。